

令和2年6月10日

保護者様

熊谷市立久下小学校
校長 吉野 富夫

熱中症・感染予防対策のための「傘さし下校」について

初夏の候、保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。引続きの新型コロナウイルス感染防止対策にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、登下校中の感染防止対策のマスク着用を継続しているところではありますが、一方で、熱中症予防の面からマスク着用のリスクも指摘されているところです。そこで、本校では、「傘さし下校」を本日から下記のように実施いたします。「傘さし下校」については、メリットもデメリットもあります。これらを検討したうえで、これからの熱中症予防対策を重視し、実施することといたしました。

今後とも保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

記

- 1 実施期間 令和2年6月10日（水）下校時から熱中症対策が必要なくなるまで
- 2 実施方法 下校時の状況で必要と判断したときに、日よけとなる傘をさしてマスクを外して下校する。
- 3 使用する傘について
 - ・下校時に日よけとなる傘を用意してください。（ビニール傘は不可）
 - ・日傘、雨傘どちらでもかまいません。（折りたたみ傘も可）
 - ・持ち手のところに名前を付けてください。
（傘立てに入れても持ち主がすぐにわかるように）
 - ・置き傘を使って下校した場合には、置き傘を必ず後日学校へ持ってきてください。
- 4 「傘さし下校」のメリット、デメリット
 - メリット
 - ・傘をさすことで、他者との間隔が取れる。
 - ・マスクを外せ、息苦しさや蒸れを防ぎ熱中症予防になる。
 - △デメリット
 - ・班の列が長くなる。
 - ・金曜日の持ち帰り荷物があるときに、歩くときに注意がより必要になる。
 - ・傘をささない子と混在すると、間隔が十分とれない場合がある。
- 5 学校で指導すること
 - ・下校班での安全な下校指導を行う。（一列歩行、信号の待ち方・渡り方等）
 - ・「傘さし下校」でも友達と大きな声で会話しない。
 - ・傘の端を友達にぶつけない。（間隔をしっかりとる）
 - ・朝、傘を持ってくるときに、周りの人にぶつけないようにする。
- 6 今後の対応について
 - ・朝から気温が高く、マスクを着けると熱中症の心配がある場合は、登校時についても検討していく。
 - △「傘さし登校」の場合は、昇降口手前でマスクの着用をするため、マスクをすぐ取り出せるようにしておく必要がある。
 - △月曜日は荷物があり、歩くときに注意がより必要になる。